

1. 科目名 (単位数)	公的扶助論 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2106 SSMP2106
2. 授業担当教員	李 青雅		
4. 授業形態	講義、グループ学習等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	我が国の社会保障制度の一部であり、生活を支えるうえでの「セーフティネット」ともいわれる公的扶助に関する制度の基礎知識を体系的に学習する。具体的には、貧困や低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際などに着目しながら、公的扶助の考え方やその歴史について学習する。また、我が国の公的扶助として中心的な役割を持つ生活保護制度について、その原理、原則、実施体制、制度運用の現状と問題点、被保護者の権利及び義務、相談援助活動や自立支援の取り組みを学ぶとともに、低所得層対策の考え方や具体的な制度について学習する。		
8. 学習目標	1 現代における貧困・低所得者の問題について理解し、説明することができる。 2 社会保障制度における公的扶助の役割について理解し、説明することができる。 3 公的扶助制度の歴史について理解し、説明することができる。 4 生活保護制度と低所得者支援の制度について理解し、説明することができる。 5 生活保護の動向と課題について理解し、説明することができる。 6 生活保護制度・低所得者支援における相談援助活動について理解し、説明することができる。 7 社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の試験問題（低所得者支援と生活保護制度）について、解ける力を持つ。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	課題 (まとめ) を授業内で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新社会福祉士養成講座 4 貧困に対する支援』第2版 中央法規出版、2026年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ・生活保護制度、低所得者に対する制度の内容や、これらの制度をとりまく問題について理解できたか。 ・国家試験に対応できる知識を、身につけられたかどうか。 ○評定の方法 授業への参加度 30% 試験・レポート 70%		
12. 受講生へのメッセージ	履修にあたっては次の事を最低限守ってください。 1 指定の教科書は授業の際、必ず持参すること。 2 ディスカッションの時間を随時設ける。積極的な参加を心がけること。 3 授業中の私語や携帯電話の使用は禁止します。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス	事前学習	貧困と生活保護について考える。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第2回	公的扶助の概念	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第3回	公的扶助の意義と役割	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第4回	貧困の概念・測定	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第5回	貧困と不平等の違い	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第6回	貧困の歴史	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第7回	中間まとめ	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第8回	生活保護制度：目的・原理・原則	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第9回	生活保護制度：保護の種類と内容	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第10回	生活保護の実態	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第11回	低所得者に対する法制度	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第12回	貧困に対する支援における関係機関	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第13回	専門職の役割	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。

第14回	貧困に対する自立支援	事前学習	教科書の該当部分を読んでくる。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの内容を振り返っておく。
		事後学習	授業で学んだ内容をまとめる。
期末試験			